

最高に贅沢で楽しい至福の娯楽"オペラ"

美しい旋律、ドラマティックな物語、17世紀初頭イタリアに生まれた"オペラ"は長い間人々を虜にし、 心を捉えてきた。目と耳を至高の快楽に導く究極のエンターテインメントだ!

世界中で最も愛されるプッチーニオペラの傑作

19世紀半ばに巨匠ヴェルディによって頂点を迎えたイタリアオペラの後継者として現れ、20世紀にか けて大人気を博した作曲家ジャコモ・プッチーニ。《トスカ》、、《蝶々夫人》、完成直前に亡くなった伝説 の遺作《トゥーランドット》――これら綺羅星の如くいならぶ名作をおさえて、最も頻繁に上演されている のが《ラ・ボエーム》だ。生誕150周年を迎えたメモリアルイヤーに観るにふさわしい作品なのである。

プッチーニ生誕150周年 記念公開



不治の病に引き裂かれる恋。心動かされる永遠の物語。

舞台は19世紀半ばのパリ。クリスマス・イブの夜に出逢った、詩人のロドルフォとお針子のミミは、ひと目で 恋におちる。屋根裏部屋で、芸術家仲間たちと夢だけを食べて生きているような暮らしだったが、互い の愛さえあれば、世界中の誰よりも幸せだった。ところが、不治の病を患っていたミミの病状は日に日に 悪化、貧しさゆえに何もしてやれないロドルフォはミミとの別れを決意する。春がすぐそこまで来ていたあ る日、街の噂では裕福な子爵の世話になっていたはずのミミが、思わぬ姿で、ロドルフォの前に現れる…。 《ラ・ボエーム》の舞台を現代のニューヨークに置き換えたブロードウェイ・ミュージカル「レント」の記録 的な大ヒットが記憶に新しいように、時代を超えてなお色あせぬ普遍性を持ちえている。

人気、実力ともに世界最高峰のキャストが共演

欧米の公演で現在最もチケットの取りにくい"ドリーム・カップル"の2人。"マリア・カラスの再来"とい われるアンナ・ネトレプコと "現代最高のテノール" ローランド・ビリャソンを主演に、アカデミー賞ノミネート ロバート・ドーンヘルムが監督。バイエルン放送交響楽団を世界有数のオペラハウスでキャリアを積んで きたベルトラン・ド・ビリーが指揮する。

> 出演:ミミ(ソプラノ):アンナ・ネトレプコ/ロドルフォ(テノール):ローランド・ビリャソン 指揮:ベルトラン・ド・ビリー バイエルン放送合唱団/ゲルトナーブラッツ州立劇場児童合唱団/バイエルン放送交響楽団 2008年 | ドイツ・オーストリア合作映画 | 35mm | カラー | スコープサイズ | ドルビー・デジタル | 114分 字幕翻訳:戸田奈津子 サウンドトラック:ユニバーサル 提供:東京テアトル、スター 後援:イタリア文化会館 協力:デジタルアクト、メモリーテック、キュー・ラ







╅[土]ロマンティックに幕上がる!

特別鑑賞券¥1,500(税込)発売中! *劇場窓口にてお買い求めの方に 特製ポストカードをプレゼント!

laboheme.eiga.com

SHINJUKU

03-5361-1937 www.cinemabox.com (初回を除く) 連日 10:30 13:15 16:00 18:45
※2月18日(水)は休館させていただきます。

